

# 尾張北部環境組合だより

平成30年4月 第2号

発行・編集 尾張北部環境組合

〒483-8221

江南市赤童子町大堀 90 (江南市役所内)

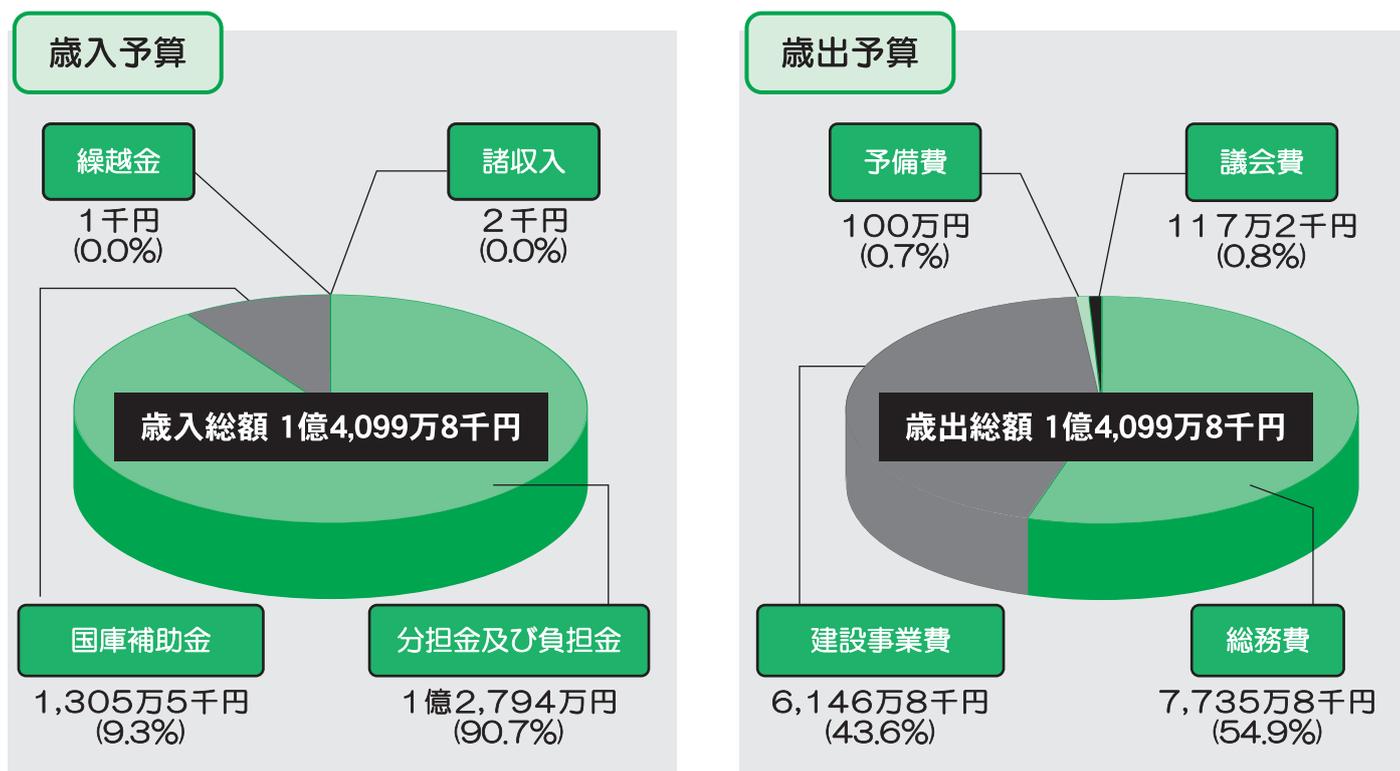
TEL 0587-54-1188

<http://www.owarihokubu.jp>

尾張北部環境組合は、犬山市・江南市・大口町・扶桑町のごみを共同で処理する新たなごみ処理施設の整備を推進しています。

## 平成30年度尾張北部環境組合一般会計予算

平成30年2月8日(木)に開催された平成30年第1回尾張北部環境組合議会定例会において、新年度の組合予算が下記のとおり可決されました。



※括弧内は予算総額に占める割合であり、小数第2位を四捨五入しているため、表章単位に満たないものは「0.0%」としています。

### ●歳入予算

組合構成市町(犬山市・江南市・大口町・扶桑町)からの分担金及び負担金1億2,794万円、環境影響評価等調査業務、ごみ処理方式等検討支援業務及び測量調査業務に係る国庫補助金1,305万5千円などを計上しています。

### ●歳出予算

組合議会の運営に要する議会費117万2千円、組合の運営に要する総務費7,735万8千円、環境影響評価等調査業務、ごみ処理方式等検討支援業務及び測量調査業務などを実施するための建設事業費6,146万8千円などを計上しています。

# 平成30年度に実施する主な事業

## ●環境影響評価等調査を行います

新ごみ処理施設を、より環境にやさしいものにしていくため、平成29年度から環境影響評価の手続きを進めています。平成30年度は、配慮書手続きと方法書手続きを行います。

### 配慮書手続き

計画段階において、環境保全のために配慮する必要がある事項を検討して配慮書としてまとめます。作成した配慮書は皆さんに公開し、環境保全の見地からのご意見をお聴きします。



### 方法書手続き

配慮書手続きを踏まえ、事業による環境影響について、どのような項目をどのような方法で調査・予測・評価していくかを方法書としてまとめます。作成した方法書は皆さんに公開し、ご意見をお聴きします。また、方法書に関する説明会を実施します。

## ●ごみ処理方式の検討を行います

平成28年度に尾張北部地域ごみ焼却処理広域化第1小ブロック会議が策定した「新ごみ処理施設整備計画」に基づき、専門家等により構成する委員会を設置し、下記の4つの方式について詳細に検討します。

### 検討する4つのごみ処理方式

- ストーカ式焼却炉+灰溶融又は灰の外部処理
- 流動床式焼却炉+灰溶融又は灰の外部処理
- ガス化溶融炉・シャフト式
- ガス化溶融炉・流動床式



※各処理方式の概要は組合ホームページに掲載している

「新ごみ処理施設整備計画」でご覧いただけます。

<http://www.owarihokubu.jp/archives/116.html>

## ●建設地の測量を行います

今後、新ごみ処理施設建設に向けた用地取得や施設の基本設計を行っていくために、建設地である江南市中般若町北浦地内の測量を行います。

### ▽建設地（江南市中般若町北浦地内）



### 測量とは？

地表の位置関係を測り、それを基に土地の形状や面積などを決定します。



### ▽施設供用開始までのスケジュール

項目	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度
PFI等導入可能性調査	→								
環境影響評価	→	→	→	→					
都市計画決定	→	→	→	→					
測量、地質調査、比準等		→							
用地取得			→	→					
施設基本設計・造成計画			→						
発注仕様書作成・事業者選定				→					
施設詳細設計					→				
施設建設工事						→	→	→	
施設供用開始									→